

議題① 事前採点 集計表

													◎	○	●	▲
①	○	○	○	●	○	○	○		○	○	●	●	0	8	3	0
②	○	●	●	●	●	●	○		●	●	●	●	0	2	9	0
③	○	◎	○	●	○	○	○		○	○	●	○	1	8	2	0
④	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●	●	0	9	2	0
⑤	○	○	●	○	●	●	●		○	●	●	●	0	4	7	0

基本目標①		基本目標②		基本目標③	
評価できる点	今後の課題点	評価できる点	今後の課題点	評価できる点	今後の課題点
学習の機会にも捉え活動している。	更に市民、児童を巻き込んで発表の場を設ける。	行政が関わる根幹事業目標である。	芦屋市の縦長地域により、求められる事案が違う	②と連動するが、市民のより良い暮らしを守る	地域のコミュニティ活動に取り入れる
			芦屋市一市だけの取り組みでは、成果が出ない項目が多いので、近隣市との協働が必要ではないかと考えます	苗木の提供や生垣の緑化への補助のように市民が自ら美しいまちなみを作ることに関心をもち、さらにオープンガーデンの取り組みのように、人と人とのつながりができ、その中で緑化や自然に美しい街並み作りにつながっている点は高く評価できると思う	
芦屋川の定期清掃・除草、保護樹林の指定	山林に触れ合うイベントの開催	大気・水質の継続的な測定	次世代自動車の購入補助の周知	助成や花苗の提供など直接的な緑化施策	苗木の購入補助費が減った理由の確認(令和2年度と令和3年度の比較)
自然環境を守る事は良い	どこまでやれば◎?●?	現状維持しかないの?	よくわからない。基準点は?	II-1 ◎になる様に	犬のふんだけでなく気になる事がある
	新型コロナウイルス感染防止対策の在り方も変わってくると思われ、次年度は野外でのイベントに関しては、適切な対策を取りつつ、開催の方向に舵を切るべきではないか。				
コロナ禍ではあるが、環境整備は順調に進められた	外出制限があっても啓発活動ができるよう工夫が求められる	生活環境についての大きな問題は発生していない		景観の保全・創造について順調に進んでいる	
継続的に事業が実施されている点	コロナ対策のため中止となった点が▲とされているが、後退というわけではないのでは?	継続的に事業が実施されている点		市内の緑化を積極的に進めている点	
コロナ禍でできる範囲で自然環境の豊かさや大切さを知るきっかけづくりができてきていること	参加者の数や関わる人を増やし、市民の環境への関心を高め、守ることへの意識向上	測定・監視・調査を継続して実施し満足度が増加。空気のきれいさや川や海のきれいさに関する満足度の増加	有害物質飛散や周りの環境への配慮に対する相談件数、苦情件数を減らす	まちなみや公園の整備管理に対する満足度の増加。放置自転車への対応	自発的・持続可能なカタチでの清掃活動の実施。市民のマナーに対する意識向上
ガイドブックの作成・幼稚園保育所学校の配布	自然観察に参加する学校に限られている	大気の常時監視・測定車で測定	ノーマイカーデーの周知徹底	オープンガーデン参加者増加	屋外広告物の条例違反
	自然の多い芦屋だからこそ、もっと広く市民が触れ合える施策を求む。				オープンガーデン以外にも美しい街並みを育むイベントや活動が必要だと思う。

基本目標④		基本目標⑤	
評価できる点	今後の課題点	評価できる点	今後の課題点
出来ることから進めている。	行政、個人の意識の問題か。	着眼点が良い。	広報し実践拡大。西宮市のリユースを参考に。
ゼロカーボンシティの表明及びロードマップの策定	一層の非LED灯の把握と交換	解体工事業者に対する指導等の実施	マルシェやフェスタのより集客した形での開催
		フードドライブ事業はフードロス削減と共に子ども食堂や地域食堂をはじめとする地域団体の物資供給に繋がり、地域コミュニティ活性化に繋がっていると感じます。	子ども食堂や地域食堂が無料で使える調理場所や、食材の保管場所が足りていないと感じております。芦屋市のフードロス削減、住民のフードロス削減意識向上の為に団体が無料で使える施設などの支援があってもいいのではないのでしょうか。助成金に関しても「場所代」として利用できるものが、限られておりますのでご検討いただけると幸いです。
まずは市内の公共施設から	一般家庭は?エネルギー機器とは太陽光?	現状維持まで出来たのなら良い	後退しない様に
施設、設備の更新に伴い、適切に省エネルギー機器等の導入が進んでいる。			
さまざまな施策を展開し、一定の効果が出ている	エネルギー使用量の増加など、課題が残っている		
省エネ対策を積極的に進めている点		リサイクル活動を積極的に進めている点	
ゼロカーボンシティの表明。地球温暖化や省エネに関する学習会など啓発活動の実施。再生可能エネルギーの利用促進	脱炭素に向けた具体的な行動指針の策定。参加者の数や関わる人を増やし市民のエネルギー問題への関心を高める	ごみの排出量削減。フードドライブ取り組みの実施	グリーン購入への啓蒙。リサイクル、リユース、アップサイクルなど資源の有効活用への取り組み強化
公共施設での省エネの取組	ゼロカーボンシティの周知徹底	広報紙などでの環境改善の呼びかけ	ごみの減量化
	ゼロカーボンシティを表明したが、市民の認知度は低く、さらなる啓発活動を求む。		ペットボトルリサイクルを含むプラスチックごみ問題に対して、もっと市全体で取り組むべきと思う。